

もんぺが女性の平服に

(新潟市・昭和 18 年)



この年から
もんぺが女
子青年団の
団服になっ
た。戦争に
総動員する
なか、冠婚
葬祭の簡素
化、もんぺ
の着用運動

を進めた。(写真は『写真記録 にいがたの女性史』郷土出版社より)

「学校軍需工場」(新潟市・昭和 19 年)



すべて
戦争へ
と総動員
態勢の
もと、
学校も
軍需品
を作る
工場に

代わり、女学生も授業は二の次に作業に動員された。(写真は「写真記録 にいがたの女性史」旧土出版社より)

梵鐘(お寺の鐘)の供出(半強制的提出)

(昭和 17 年)



吉川村役場前での梵鐘供出記念写真。梵鐘は弾丸などの材料となった。

金属回収(十日町市・昭和 17 年頃)



武器や
飛行機
をつく
るため
に、国
防婦人
会など
が中心
になっ
て、鍋

や釜、お寺ではつりがねまで供出した。(写真は「写真記録 にいがたの女性史」郷土出版社より)

防火演習(上越市・昭和 10 年代)



防空頭巾を身にまとった女子青年団・婦人会の人びとが合同で。

雪中訓練での整列(越路町・昭和 19 年)



塚山村では、夫を戦地に送った女性たちなどが、鍬を木銃(木で作った銃のかたちをしたもの)に持ち替えて、吹雪の中で訓練に励んだ。

ちをしたもの)に持ち替えて、吹雪の中で訓練に励んだ。